

第4次アクションプラン

全国の農業高校の新戦略

—グローバル・アグリハイスクール宣言 Part II—



令和4年3月
全国農業高等学校長協会

1 はじめに

農業高校（農業に関する学科及び系列等を設置する高校を示す）では、就農者の育成をはじめ、かけがえのない豊かな自然と美しい地球環境を守り、生命を尊び、持続可能な循環型社会を構築するための役割を果たすことを誓い、全国農業高等学校長協会として平成18（2006）年度にアクションプランを策定しました。あわせて、「エコロジカル・アグリスクール宣言」を行い、「5つの行動指針」、「10の行動計画」により、農業教育の向かうべき方向性を明確に示し、5年単位で活動してきました。

平成24（2012）年度からの第2次アクションプランでは、農業高校が地域と連携した特産品の開発を行うなど、一定の成果が出たことが検証されました。

平成29（2017）年度からの第3次アクションプランでは、「我が国の未来を担う人材を育て地域で活躍させる」ための行動計画を策定し、生徒の進路を実現させ、教員の資質を向上させることを目的に取り組んでまいりました。同時に、「グローバル^{※1}・アグリハイスクール^{※2}宣言」を行い、農業高校の価値と役割を再発見し、農業高校の強みを活かし「世界規模で考え、足元から行動する学校」を目指してきました。

検証の結果では、地球を守り創造する教育、地域の関連産業や6次産業化に寄与することや、地域の農業生産を支える教育などが一層推進されてきました。

令和4（2022）年度から開始する第4次アクションプランは、これまでの取組を踏まえつつ、新学習指導要領で示された、「農業や関連産業を通じて地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人」を育成することを実現するためのプランとしました。また、このプランでは Society5.0 の時代にふさわしい農業教育を実現し、新時代に活躍できる生徒の育成を図ることをねらいとしました。生徒による主体的・計画的な農業学習の一層の充実のためにプロジェクト学習や STEAM 教育^{※3}を充実させ、課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を育成するなど、地域や社会の未来を担う人材を育成するべく、全国の農業高校は取り組んでまいります。

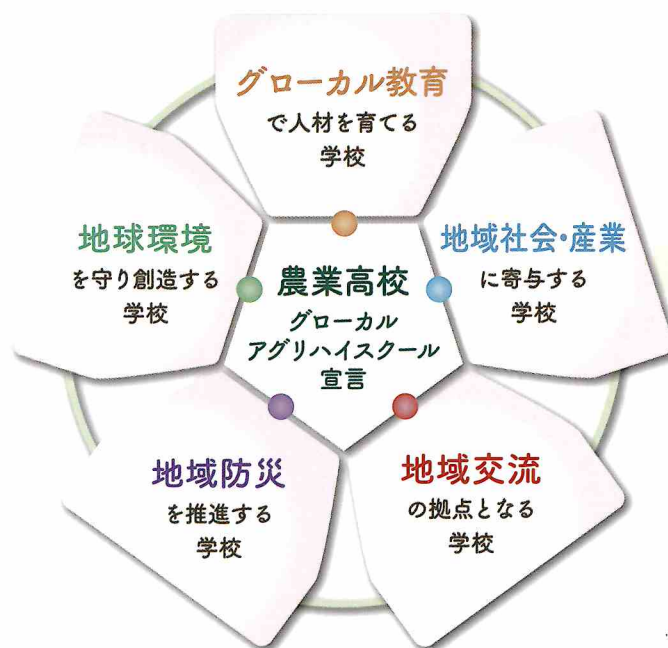
※1 グローバル……………Global（世界的な）と Local（地元の）を合わせた造語
“Think globally, Act locally”（世界規模で考え、足元から行動せよ。）に由来

※2 アグリハイスクール… 農業高校（Agricultural High School）の一部を省略した造語

※3 STEAM 教育…………… 科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術（Art）、数学（Mathematics）の5つの領域を横断的・統合的に学ぶ。理数教育に創造性教育を加えた教育の理念。体験の中で課題を発見し、創造的に課題を解決していく能力を身に付けることが重視される。

2 農業高校のミッション（目指す学校像）

グローバル・アグリハイスクール宣言のもと、「農業や関連産業を通じて地域や社会の健全で持続的な発展を担う職業人を育成すること。」を目指し、次の5つミッションに取り組みます。



3 行動計画

わたしたち農業高校は、5つのミッション（目指す学校像）を具現化するために、「持続可能な開発目標（SDGs）」を念頭に、以下に示す8項目の行動計画にしたがって行動します。

No.	行 動 計 画	キ ー ワ ー ド
1	「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います	アグリマイスター顕彰、進路実現、高大連携プロジェクト学習、STEAM教育 インクルーシブ教育
2	「世界と日本をつなぐグローバル教育」を行います	グローバル教育、国際交流
3	「地域農業の生産を支える教育」を行います	生物生産、特産物、GAP、経営
4	「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います	地域貢献、6次産業化、食農教育、経営 HACCP
5	「地球環境を守り、創造する教育」を行います	環境創造、国土保全、循環型農業、循環型社会
6	「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います	地域資源活用、特産物、地域交流、食農教育
7	「Society5.0の時代に応じた教育」を行います	スマート農業、ICTを用いた学習
8	「地域防災を推進する教育」を行います	地域防災、多面的機能

4

実施期間

実施開始 令和4（2022）年4月
 検証開始 令和8（2026）年10月
 目標達成 令和9（2027）年3月
 新プラン 令和9（2027）年4月



5

推進方針

- (1) 第4次アクションプランは、令和4年度より全国の農業高校及び農業教育を行っている学校において実践を開始します。
- (2) 全国農業高等学校長協会は、文部科学省、農林水産省をはじめとする国の関係行政機関、各都道府県の行政機関、民間の関連企業・団体など、あらゆる連携可能な機関や個人との連携を図り、プランの実現に努力します。
- (3) 各都道府県農業高等学校長会においても、アクションプランの作成と実現に向けて努力します。

6

実施上の留意点

- (1) 各学校は第4次アクションプランを踏まえた学校独自のスクール・アクションプランを策定し取り組みます。また、プランは学校ホームページに公表します。総合学科や併置校では、各校の実情に応じたスクール・アクションプランを策定するよう努力します。
- (2) 各学校は第4次アクションプランとスクール・アクションプランを各都道府県教育委員会に報告し、その実現に向け関係機関とも連携するよう努めます。
- (3) 数値目標は、都道府県・学校・設置学科の特色など、各学校の実情や特色に応じて設定します。
- (4) 各校のスクールミッション・スクールポリシーの定義にあたり、スクール・アクションプランを位置付けることも考えられます。
- (5) このプランは、必要に応じて改定することがあります。

令和4年3月

全国農業高等学校長協会

〒102-0074

東京都千代田区九段南4-3-3

シルキーハイツ九段南2号館104号室

電話 03-5357-1666

E-mail zennokocyo@zennokocyokai.org



農業校長会

検索

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

全国農業高等学校長協会は SDGs を行動基盤として地域貢献できる人材の育成を目指しています。

リサイクル適性[®]
 この印刷物は、印刷用の紙へ
 リサイクルできます。